



「福島の子供たちから  
学び、応援する会」  
に参加して  
小峯久美子

私たち協議会では、8月5日(金)に「福島の子供たちから学び、応援する会」の研修に参加しました。

研修では「福島で結んだ絆はなさずに ありがとを全国へ」のスローガンを掲げた第64回全国高等学校家庭クラブ研究発表会の大会2日目に参加し、その発表内容は次のとおりでした。

《全国から選ばれた7校の学校家庭クラブ活動発表会》

事前に「高校生が地域と関わった活動」との説明を受けていたものの、ここまで高校生が地域にかかわり、学校によつては3年から5年のスタンスで実施され、さらに地域

予選を経て決勝大会に臨んだという事に圧倒され、その発表内容はどれも想像を超えているものでした。

最優秀賞受賞校では、状況調査(学校や市の備蓄、東日本震災での千葉県被害)、学習(地震のメカニズム、応援救護)、他校の生徒との意見交換、被災体験合宿を行ったり、コンパクトな防災マニュアルを作つて地元千葉県館山市民に広めたりしていました。

それ以外の発表校もすべてが地域と関わった課題であり、活動を通じて地域の人たちと「つながり」ができていく過程で生徒たちが成長し、成果に繋がつたと思います。

《展示》

東日本大震災や原発事故、各学校の活動が展示してあり、高校3年生2名が「南会津郷土料理コンテスト」「高校生が伝えるふくしま食べる通信」という高校生の復興に向けての活動を紹介してくれました。ふくしま食べる通信(こくふく通信)は福島の高中生が発信する食材付きの情報誌で、定期購読で年4回福島島の生産者の想いを旬の農作物付きで届けており、高校生で構成さ

れた編集部による取材や原稿執筆等、誌の発行を通じた事業実践の場にもなっています。

《フラダンス》

フラガールズ甲子園で昨年最優秀賞を受賞した高校を含む3校が、フラダンスを披露してくれました。

伝統的なフラや躍動的タヒチアン以外にも、中島みゆきの「糸」や「ふるさと」の曲に合わせて踊られ、絆を大切にしている気持ちやふるさとへの心情が伝わってきました。

《留学生の報告》

2名の生徒が、留学を通して文化の違いやさまざまなことを乗り越えてきた自信あふれた発表をしました。

そのうちの1人は、土浦第二高等学校の生徒でした。

- 
- 
- 
- 

一人ひとりの「生きる力」の育成、「男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てること」は、私たち協議会の大きなテーマです。この研修に参加することは大きな意義があり、地域社会における課題解決を通して「みんなの幸せ」を追い求める第一歩になることを願っています。

## 自衛官等募集案内



◎防衛大学校学生(一般)前期

受験資格	高卒(見込み含む)の資格を有する21歳未満の者
試験期日	1次:11月5日・6日 2次:12月6日から11日のうち指定された日

◎防衛医科大学校医学科学生

受験資格	高卒(見込み含む)の資格を有する21歳未満の者
試験期日	1次:10月29日・30日 2次:12月14日から16日のうち指定された日

◎防衛医科大学校看護学科学生

受験資格	高卒(見込み含む)の資格を有する21歳未満の者
試験期日	1次:10月15日 2次:11月26日から27日のうち指定された日

左記以外にも自衛官候補生(男子)は年間を通じて募集しています。その他、急遽募集内容等が変更になる場合があります。詳細については下記の事務所までお問合せください。

問合せ 自衛隊茨城地方協力本部 龍ヶ崎地域事務所(龍ヶ崎市寺後3629-5) ☎0297-64-3351

\*自衛隊茨城地方協力本部ホームページにも募集情報を掲載しています。(http://www.mod.go.jp/pc/ibarakii/)

【募集共通事項】受付期間:9月5日~9月30日(締切日必着) ※試験場所は各人に通知します。